



# としょかんだより

令和4年 2月 2日 (水)  
久山町立久原小学校図書館  
学校司書 横山 柳子



## 2月のおすすめの本

2月3日は、節分ですね。節分にまつわる話や鬼が出てくる本がたくさんあります。本を紹介したいと思いますので、学校図書館やレスポアール図書館で、見つけて読んでみてくださいね。



### 節分の由来

節分は、「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という願いをこめて、悪いものを追い出す日。「鬼は外、福は内」と言いながら豆まきをします。節分という言葉には「季節を分ける」という意味があります。昔の日本では、春は一年の始まりとされて、大切にされました。

### 2学期にたくさん本を読んだ人の紹介

たくさん本を読んでいる人におすすめの本を聞いてみてはどうでしょう。おもしろい本が見つかると思いますよ。3学期も、もう少しで終わります。読書を楽しみましょう。

#### —1年生—

矢野 哲郎 (1年) 280さつ  
大内田 玲奈 (1年) 277さつ  
中村 柚月 (1年) 260さつ

#### —2年生—

久木園 華杏 (2年) 259さつ  
久芳 晴乃 (2年) 239さつ  
佐伯 恵梨 (2年) 208さつ

#### —3年生—

上田 義人 (3年) 125さつ  
阿部 優心 (3年) 102さつ  
井手 歓多 (3年) 101さつ

#### —4年生—

岡 優汰 (4年) 225さつ  
城崎 堯汰 (4年) 191さつ  
田代 一華 (4年) 155さつ

#### —5年生—

江藤 わこ (5年) 189さつ  
田中 遼汰郎 (5年) 178さつ  
井上 美玖 (5年) 165さつ

#### —6年生—

柚木 紫帆 (6年) 116さつ  
窪川 英二 (6年) 113さつ  
杜 陽 (6年) 111さつ



『せつぶんだ まめまきだ』  
せつぶん、なせ豆をまくのか、どんなかざりをするのか、などが、わかりやすく書いてありますよ。



『おにのうち おにもうち』  
せつぶんの夜、泣いている鬼をお父さんが家の中へ入れてしまって……。ちょっと変わった、鬼のお話です。こんなせつぶんも、楽しいかも？



『まゆとおに』  
やまんばのむすめ、まゆは、ある日、鬼と出会いますが……。まゆを食べようとする鬼と、それに気づかず、楽しく遊ぼうとするまゆがとってもかわいくて、楽しい本です。



『おにのめん』  
親元をはなれて働いているお春。ある日、大事にしていたお面が鬼のお面に変わってしまって……。親思いのお春と、まわりの人々との心あたたま、でも最後は大笑いできるお話です。



『島ひきおに』  
小さな島に、ひとりぼっちで住んでいるおに。でも人間はおにをこわがって、友だちになってくれません……。ちょっとさみしくなってしまうけど、みなさんに読んでほしい本です。



『おにたのぼうし』  
せつぶんの日。どの家からも豆まきの音がして、おにたは行くところがありません。たった1けんだけ、おにたの入れる家を見つけたのですが、その家にはおなかをすかせた女の子がいました。ぼうしをかぶって食べ物を持っていったおにたに、女の子はなんと豆まきがしたいと言いだして……。